

令和5年度 やまがた社会貢献基金助成事業 活動報告書

団体名	ローカル線プロレス実行委員会		
事業名	公共交通を守るまちづくり参加意識の醸成を図るイベントの開催		
助成事業区分	協働助成事業(一般型 自由提案部門)		
団体の 所在市町村	長井市	事業費	2,144,121円
		うち助成金額	500,000円
事業実施期間	令和5年8月23日 ～ 令和6年2月29日まで		

事業目的・実施内容	<p>(事業目的)</p> <p>地方都市のまちづくりを考える上で重要な公共交通機関。高校生の通学の足となり、車の運転が難しい高齢者を支えています。少子高齢化、税収の減少、モータリゼーションなど、さまざまな問題が複雑に絡み合っって公共交通の維持が難しい時代、政治的な話の手前に、市町の枠を越えて沿線住民みなで考えていこうというまちづくり参加意識の醸成が必要だと考え、この事業を行います。</p>
	<p>(実施内容)</p> <p>2015年7月4日、フラワー長井線の貸切車両を用い、世界で初めて走行中鉄道車両内でのプロレス試合を行った『ローカル線プロレス』。以降年1回の大会を継続開催していましたが、2019年の第5回大会を最後に新型コロナウイルスの流行によって3年間開催出来ずにいました。長井線全線開通100周年にあたる昨年、4年ぶりの第6回大会を10月1日(日)に開催しました。</p> <p>赤湯発長井着のAブロック列車、長井発荒砥折り返し長井着のBブロック列車の2本の「プロレス列車」を運行し、午後に長井市役所庁舎北側の駐車場で、「駅前プロレス」を行いました。</p> <p>なお、初めての試みとして、本来有料の「プロレス列車」に置賜地区内の高校生を無料招待する企画を行い、公開抽選会によって当選した高校生2名に“非日常”の長井線を体験してもらいました。</p>



ザ・グレート・サスケ選手とのはしたる選手の激闘が目の前で!



荒砥駅における場外乱闘!シーサー王選手とOSO11選手が激しくぶつかり合う!

事業の成果

2015年7月4日に世界で初めてフラワー長井線で『ローカル線プロレス』を行って以降、銚子電鉄(千葉県)、JR只見線(福島県・新潟県)、琴平電気鉄道(香川県)など、全国各地で次々と類似した列車プロレスイベントが開催されています。プロレスファンのなかでは、フラワー長井線は列車プロレスを初めて行った“元祖”として認識されています。

今回の第6回大会においては、赤湯発長井着のAブロック列車、長井発荒砥折り返し長井着のBブロック列車の2本の「プロレス列車」のうち、Bブロック列車のチケットは完売となり、Aブロック列車もほぼ満席状態で運行しました。

午後に長井市役所北側の駐車場で行った「駅前プロレス」には、約100名のプロレス列車の乗客のほか、近隣住民など多くの方が観戦に集まり、合わせて約400名が熱狂する空間となりました。

今後の展望

沿線2市2町の枠を越えてフラワー長井線を守るまちづくり参加意識の醸成をさらに深めるため、川西町・南陽市でも大会の開催を目指します。また、オリジナルグッズの販売で開催経費を確保するばかりでなく、イベントをきっかけにして沿線市町の名産品を販売し、多少でも地域経済に好影響を及ぼせるイベントにしていきたいです。

さらには、今回初めて試みた、置賜地区内の高校生を無料招待する企画についてもブラッシュアップを図り、さまざま課題を抱えたローカル線でも面白いことが出来るということ、地域の子どもたちに見せていきたいと考えています。



Aブロック列車出場選手、記念撮影!



普段の興行ではまず見られない豪華カルテット!



Aブロック勝者ののはしたろう選手とBブロック勝者OSO11選手による、PWLL王座戦!!

団体概要

団体名 ローカル線プロレス実行委員会
代表者 喜早 洋介
お問い合わせ ☑ prowrestling.localline@gmail.com

